



発令式での宣言
4月1日

歓迎 新採用者
小426人、中133人、高44人
幼稚園10人、養護教諭54人
栄養教諭10人、事務職員16人

発行 大阪市学校園教職員組合 大阪市中央区法門坂1-1-35(大阪市教育会館内)

TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyol@sea.plala.or.jp



維新の教育破壊 青年教職員が告発



10年目で、維新政治の教育現場しか知りません。司会の方が「維新政治で何か良いことが一つでもあったか」と言われましたが「ありません」。しんどいです。10年間でどんどん問題が積み上げられてきました。反応するのが間に合わないぐらい、次から次にどんどん問題が積み上げられていると感じます。

出てくるのは、「数値」、「評価」、「学力」。実際に増えたのはアンケートとテスト。テストのサイクルが出来て、たくさんたくさん、テストだらけの毎日になっています。アンケートも増えました。保護者に対するアンケートが年間何回もあって、児童アンケート、教員のアンケートも増えて、「アンケート」、「アンケート」、「アンケート」、「数値」、「数値」、「数値」、データの処理だけでものすごく大変なんです。それだけで書類の山です。パソコンにデータを打ったり、そんな仕事をしていたら一日が過ぎて7時とか、8時なんです。最近は8時過ぎてから教頭先生と一緒に帰る毎日です。

研修も増えました。初任者研修、2年次研修、5年次、10年次、私は増えた研修を全部やってきている。研修に行く前に計画書、行って報告書、最終的に全体報告書を書く。とにかく作業量が多い。子どもと向き合う時間が全くなくて、ひたすら書類を作成しているという状態。本当に悲しいと思います。子どものために放課後は教材を研究したり、クラスをこうしようと考えていることなく、書類づくりで終わってしまう毎日です。維新がやってきたことが降りて来ていると思います。

私たち若手教員は、反論する力もなく言われるがままに、こなすことに必死になってしまっていて、子どもを思う時間が減ってしまっている。ベテランの方も一緒だと思うんです。「数値」、「数値」と言われたら、とらわれて自分の後輩に対して、「なんでこんな事が出来ないのか」となってしまう。

保護者からのアンケート、やればやるほど圧迫感を感じます。アンケートを開封するのが苦痛です。嫌なんです。集計して、こんな一時期のものやと分かっている、すごく落ち込むんです。アンケートを取るたびに悲しくなります。どんどん自分自身を追い込んでしまいます。みんながしんどい。若手もベテランも、もっと言えば管理職も保護者も、「数値」、「評価」、「学力」に踊らされてしんどい毎日を送っていると思います。だから大阪から先生がいなくなっていると思います。

私10年間やっているんですけども、その中で5人精神疾患で病欠となりました。他にも何かうまいこと理由があれば、他府県に逃げる。一緒に始めたはずなのにいないのです。それだけでもつらいと思います。

今の働き方という、2年生の主任をやっている、研修部長を兼任していて、10年目なので教員免許更新制があり、中堅研修にもあたり、研究授業も自分が担当し、研修に10回くらい出て、自習体制を作り、誰かに頼まないといけないし、主任なので会議もフルで参加、一週間で会議が無い日はほぼないです。会議があって、5時から書類を作成して、7時ぐらいから明日の準備をして8時に帰ることになります。7時代に帰れば、万々歳。自分の仕事だけでそうなんです。2年の主任なので、保護者対応の大変なクラス、一緒にしなければならぬ。2月に産休に入り、講師なんか来るはずない。1か月後、奇跡的に戻って、しかし、経験のない人。放課後になったら1日どうだったか話を聞き、明日の計画を立て。保護者対応があれば一緒にやり。仕事が残ります。明日(日曜日)も学校にいきます。所見もできていないし、研究紀要もできていないし。学級崩壊は一つではなく、病欠の先生もいます。担任外ゼロです。教頭先生も校長先生も授業等で誰にも頼りません。それなのに現場の責任にするのはどうかと思えます。忙しすぎてみんながどうしようもない状態だと思います。

私の後輩が保護者対応に疲れ、病欠に入っていました。本当に悲しいです。若手はいま生きること精一杯で、自分がやらないといけないことに精一杯で、自分の身を守ることに精一杯と思えます。どうかみなさん話を聞いてもらって、若い人たちが元気で頑張れるように、応援してもらえたらと思います。

学習会「維新政治の教育・民主主義破壊の実態」が3月9日に開かれ60人が参加し、明るい民主大

阪府政をつくる会の中村正男さんが講演、青年が実態を告発しました(別項参照)。主催は大阪市

退職教職員の会。大阪市教の宮城委員長は、「子どもの尊厳を否定する維新に、教育を語る資格

はない。選挙の年に、維新政治に終止符を」と題して報告。共感が広がった青年の報告は「数値」、

「評価」、「学力」に追い詰められる子どもたち、保護者、青年教職員の実態を明らかにしました。

第19回ママ友会議 復帰前参加よかった



第19回ママ友会議を3月21日に行いました。今回は、子ども

も4人を含む19人の参加でした。最初にかわいい髪飾りが出まがりました。

次に、勤務労働条件に関するミニ学習会をしました。①主務教諭選考で、育休取得者への不利益が無くなるようになりました(前4年度までの評価をみならず)、②子

の看護休暇の対象範囲が中学就学前までに戻った、などの改善点がありました。一方で、文科省による変形労働時間制の導入の動きがありま

す。導入されれば、日々の労働時間が増えるため、働くママさんにとっては、保育所の送迎にも関わる重大な問題です。次回は7月15日。

4月復帰を控えたママさんからは、「部分休業について、アドバイスをもらうことができて良かった。」等の感想が寄せられました。

その後の交流会では、「人事評価で、紙切れ一枚を渡されただけ」、「B評価(第4区分)は誰?」、「マタハラやパワハラがひどい」、「管理職も動かない」など、次々に職場の状況が明らかになりました。

再稼働はんたい! おおさか大集会2019」が3月10日開かれ500人が参加し、集会后パレード

が行われました。日本環境学会元会長で自然エネルギー市民の会代表の和田武・和歌山大客員教授が、国内外で進む脱原発・再生可能エネルギー普及の取り組みについて講演しました。

安全な暮らしを実現するには原発をなくすしかないと思える。この会が報告しました。

市教委は3月、「教育職員における時間外勤務の上限規制の導入について」を提案しました。

市教委は、教育職員には「原則として時間外勤務を命じない」「命じる場合は限定4項目で、臨時又は緊急のやむを得ない必要がある時に限る」「命じることのできる限定4項目については、その上限は概ね8時間」というのが給特法(政令、条例を含む)の趣旨であることを指摘しました。

市教委は、認識はこれまでも何ら変わるものではなく、給特法や関連する政令

なくせ原発 再生可能エネルギーを

市教委は3月、「教育職員における時間外勤務の上限規制の導入について」を提案しました。

市教委は、教育職員には「原則として時間外勤務を命じない」「命じる場合は限定4項目で、臨時又は緊急のやむを得ない必要がある時に限る」「命じることのできる限定4項目については、その上限は概ね8時間」というのが給特法(政令、条例を含む)の趣旨であることを指摘しました。

市教委は、認識はこれまでも何ら変わるものではなく、給特法や関連する政令

市教委は、認識はこれまでも何ら変わるものではなく、給特法や関連する政令

勤務時間の上限規制 給特法廃止教職員増を

市教委は3月、「教育職員における時間外勤務の上限規制の導入について」を提案しました。

市教委は、教育職員には「原則として時間外勤務を命じない」「命じる場合は限定4項目で、臨時又は緊急のやむを得ない必要がある時に限る」「命じることのできる限定4項目については、その上限は概ね8時間」というのが給特法(政令、条例を含む)の趣旨であることを指摘しました。

市教委は、認識はこれまでも何ら変わるものではなく、給特法や関連する政令

仲間が増えた!

市外から「大阪市教に入りたい」講師組合員、再任用の加入続々

人事異動とともに、うれしい拡大が続いています。「A小学校に赴任が決まりました。大阪市教に入りたいです。」と、新採用の方から電話がありました。市外の講師経験の中で全教を信頼し、加入を決めていたそうです。また新採用となった講師組合員の方や再任用の方からも、引き続きの加入を確認しています。あなたの職場に来られた新採用や転入の方にも、ぜひ取り組みのピラや加入書などを手渡してください。育休や病休明けで復帰された方にも組合の存在を知らせ、相談に乗れることを知らせてください。困っている人、悩んでいる人は必ずいます。声をかけ、あなたの職場で組合員をまず一人、増やしましょう!

大阪メーデー
5月1日
総がかり憲法集会
5月3日
両日1時30分扇町公園

教え子を再び戦場に送るな!